

自己評価

保健安全部 教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら運動に親しみ、健康や安全に留意しながら学校生活を送るための知識や意欲、態度を育成する。 ・校内安全管理、災害対策を行い、事故のない安心・安全な教育環境の充実に努める。
------------	--

評価する領域・分野	安全、緊急時の対応、医療機関との連携、健康管理	
現状及びアンケートの結果分析等	生徒の「学校の先生は、生徒の安全に気を配っている。」では、80%以上の「あてはまる」評価を昨年度から維持している。保護者・学校評議員の「学校は、生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。」でも80%以上の「あてはまる」評価であり、「わからない」評価は昨年度より減少した。「学校は、医療機関と連携を図って、生徒の健康管理に気を配っている。」では、昨年度に続き「わからない」「未回答」を合わせて30%程度であった。	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本校生徒の課題に即した健康教育を充実させるとともに、学校環境の衛生管理に努める。 ・スポーツ大会等の学校行事や保健体育の授業を充実させる。 ・様々な想定での各種訓練を実施し、命を大切にできる生徒を育てる。 ・施設管理、校内美化を推進し、公共物を大切にできる態度を育てる。 ・地域と一体となった安全・健康教育に関する体制を整備する。 	
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・保健、体育、防災、環境の4つに重点目標との関連を踏まえた業務の分担をする。 ・担任や生徒会（委員会）と連携して保健や安全、環境衛生の維持、改善に努める。 ・地域、学校、専門家が連携し、危機管理体制を確立する。 	
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な想定での各種訓練を実施、適切な判断や行動ができるようにする。 ・各分野の専門家の協力を要請し、年間計画を作成し、食育、性教育、防災教育を推進する。 ・外部講師を活用した各種研修を設定する。 	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・職員の健康や安全に対する変容、日常的な取り組み状況 ・各取組に対する反省アンケートの分析結果 	
取組状況・実践内容等	(保健) 性講話（職員研修）、性の相談週間、緊急時対応訓練、「保健だより」発行 (体育) スポーツ大会、新体力テスト、食育セミナー、職員健康研修 (防災) 命を守る訓練、非常変災時対応訓練、防災対策会議、「ぼうさい通信」発行 (環境) 安全点検、備品管理・整備、定期・日常清掃	
評価の視点		評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練や研修等の体験的な活動を通して、生徒が健康で安全に生活することができたか。 ・ 職員の安全に対する危機管理意識、専門性を高めることができたか。 ・ 安心安全な学校となるための危機管理体制を整備することができたか。 		(A) B C D (A) B C D A (B) C D
成果・課題		総合評価
○性教育、食育、防災教育は、年間計画を立て、専門家との連携し、一貫した取組で推進できた。 ○様々な想定での命を守る訓練や防災月間での取組を通して防災意識を高めることができた。 ▲地域や専門家と相談しながら避難所開設マニュアルを整備できたので、地域一体となった防災訓練が実施できると良い。 ▲防災について、生徒が自発的、主体的に取り組める体制があるとよい。		A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・保健教育（性教育、食育、歯科指導）、防災教育の3年間を見通した計画を立案し、専門家と連携し、一貫した取組を実施する。 ・地域や専門家と連携し、防災対策会議をもち、地域と一体となった訓練を実施する。 ・生徒の体育委員会を体育安全委員会とし、防災に関する取組を行うことを提案する。 	

学校関係者評価 (平成31年2月28日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きからいろいろな健康につながっていく。基本的な生活習慣につながるので歯科指導はとても良い。 ・地域の避難所として準備が進められて、とても良い。地域合同防災訓練を実施し、より良く改善をしていく。 ・就労へ体力の向上が求められる。
-----------	--

